

子育てに不安を抱える小学生の親御さんへ

子どもをのばす 親になれる講座 参加無料

「わが子に合ったほめ方叱り方?！」
「イライラや怒りすぎをなくしたい!」
「ゆとりをもって子供に向き合いたい!」

キャンセル待ちの
人気講座!
今すぐ確認!

参加理由はさまざま

子供にイライラ系

- ・やるべきことを後回しにして遊ぶ
- ・ゲーム、動画三昧
- ・思春期で口ごたえや反抗への接し方
- ・きょうだいゲンカがひどく毎日うんざり
- ・勉強にやる気を見せない
- ・受験させたい、子供のモチベーションが上がる

親のメンタルヘルス系

- ・子どもを怒ってしまうのは私の問題?
- ・どうすれば気持ちの余裕を取り戻せる?
- ・夫婦間の協力体制も不足
- ・子育てに孤立感がある

教育費・将来設計の不安系

- ・共働きなのに外食もひかえている
- ・教育費どうやって貯める?
- ・受験、塾、習い事…費用対はどこがよい?

お申し込みはこちら



<https://line.me/R/ti/p/@870nmghg>

- ①「あいち子育て事務局」ライン
ともだち登録→こちらをタップ
 - ②登録メッセージに注意事項、申込
フォームが届きます。
- ※質問、お問合せもラインまで!

定員
各回 10 組

先着順

時間：10:00~11:30

対象：小学生の保護者

(お子様連れの場合、お隣にお席をご用意いたします)

一宮地域文化広場

(第2研修室)

11/14(金) 12/14(日)

尾張一宮駅前ビル(iビル)

(小会議室)

12/ 3(水) 1/ 9(金)

アイプラザー宮

(第2会議室)

12/12(金) 1/14(水)

- ①講座開始5分前にご着席ください。②お問い合わせはラインにてお願いします。
③お子様向けコンテンツのご用意はございません。④本チラシは参加日まで保管いただくことをオススメします。

講座参加者の声

自身のパーソナルアライアメントが
あたっていてビックリしました。

つい子どもたちに自分の考え、思いなどを、おこり
注意をしようとするが、今回の習得で人にもと
タイプ、考えがちがうことを認め、柔軟に受け止
められ子どもたちに対して、ちがう対応をして
いこうと思いました。

自分が正しいと考えをおしつけていたので、
自分のタイプを知ることで、よかったです。
これから、夫婦、親子がどうありたいかの
考えをまとめていきたいと思いました。

自分自身の母との関わりと 自分と息子との関わり
が随分違ふゆえに、今更に関わりかたのちがいを
気づき、気付けた気がします。

年齢別の子育て方法や、大人と子供の感じ方の違い
など気づかれました。
上の子とタイプ違うだろうなと思うので、家ごさく
タイプを分けてあげたいと思います。

中学生の息子と保育園児の息子の2人の
子育てに日々悩む不安は毎日でしたが、
今日の講座を通して少し気持ちが楽に
なりました。今後の子育て生活で
にいかせていこうと思います。

／ 大事なのは子供をのばす親になれる環境作り／
「統計学・脳科学・社会経済から見る、子どもをのばす親になる講座」

【スケジュール】

①親の本来の役割

・親にしかできないこと、親が与えられる唯一のことを知るとイライラが減る？

②子どもをのばす環境とは？

・子どもが安心して挑戦や学びに取り組める雰囲気づくりの土台を学ぶ

③能力心理学から見る「個性のちがい」

④分析心理学・行動遺伝学から見る「個性のちがい」

・「ちがい」を知ること、子どもを尊重できるようになる「客観視」を身につける

⑤ゆとりを生み出すライフプランの考え方

・親の心のゆとりである土台、今を大事にしながら将来設計を整える考え方を学ぶ

⑥アンケート

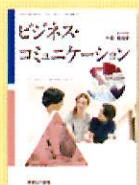
・学びの振り返り

子どもを
のばす環境、
それは
親の心のゆとり！

UP!



文部科学省選定の高校教科書
『ビジネスコミュニケーション』



2022年より商業系高校に
導入。執筆と総合監修を担当

※当日は別講師になります。

監修者 吉井 伯榮 先生

2022 文部科学省 高等学校教科書 執筆者と総合監修者
武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部 客員教授
※武蔵野学院大学より客員教授として認定

わが子に合った褒め方叱り方がわかる!

人はそれぞれ個性があります。
「その個性がどういったものか？」
は意外と親御さんでもわからないことがあります。

武蔵野学院大学客員教授の吉井伯榮先生は、
そこに着目し膨大なサンプリングデータから分析。

その統計データを体系的にまとめ、実践的に活用できるように
した“サイグラム”を開発しました。



お子さんに合った叱り方を
ご存知ですか？
兄弟姉妹でも叱り方はちがいます。
叱り方をまちがえてしまうと
お子さんの心は
閉じてしまうかもしれません。